



子どもの様子がおかしい そんなときこそ落ち着いて

子どもの急な発病。小さな子どもの苦しそうな姿を見ると慌ててしまいがちです。「大丈夫そうだけど念のため」と救急外来を受診していませんか。
今月号では、子どもの救急についてお知らせします。

近年、家族構成の多様化によって両親と子どものみで構成する核家族をはじめ、母子家庭や父子家庭など、子育てを経験した祖父母などが同居していない家庭が増えていきます。

夜間、急にお子さんの体の具合が悪くなったときに身近に相談できる人がいないため、慌てて救急外来を受診することが多くなっています。

しかし、必ずしも急いで受診する必要があるとは限りません。不要な受診が保護者の負担ばかりでなく、お子さんへの負担になることもあります。

小児科の先生の診療を受ける前にお子さんの状態チェック

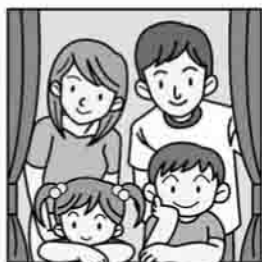
- ぐったりしていないか
- 呼び掛けに反応するか
- 機嫌はよいか
- 顔色や肌の張りつやはよいか
- 食欲はあるか
(赤ちゃんの場合、ミルク)
や母乳の飲みはよいか
- おしっこは出ているか
- 便は出ているか
色やにおいはどうか
おなかが張っていないか
- 息はゼーゼーしていないか
(背中に耳をあてて聞く)
- 鼻は詰まっていないか



家庭での主治医は お母さん・お父さん

お子さんの体の具合が悪くなったとき、家庭での主治医はお母さんお父さんです。慌てずに、お子さんの状態をよく観察しましょう。

夜間の救急外来を受診しようとしたときに生後6か月以上の場合は、発熱があっても次のすべての項目に異常がなければ、翌朝まで様子を見て大丈夫な場合がほとんどです。



心配な気持ちは分かります。しかし、深夜の受診はお子さんへの負担となり、症状を悪化させることがありますので、適切に判断しましょう。

知っ得 WEBサイト

こどもの救急

おかあさんのための救急&予防サイト
(社団法人日本小児科学会監修)



<http://www.kodomo-qq.jp/>

こどもの救急

検索



携帯サイト

夜間の救急外来を受診するかどうかを悩んだときは「福島県こども救急電話相談」をご利用ください。医師及び看護師が病気への処置方法や救急病院へ行くべきかなどをアドバイスします。

なお、電話相談では病気の診断は行いません。アドバイスを参考にし、家庭での対処のみとするか、医療機関を受診するかは最終的に保護者の判断となります。

判断に悩んだら#8000

福島県こども救急電話相談

毎日19時～翌朝8時

短縮ダイヤル #8000

(携帯電話、固定電話プッシュ回線)

または

☎024(521)3790

(固定電話アナログ回線)

落ち着いて 冷静に

小児救急外来では、ぐったりしたお子さんの姿に気が動転して症状を説明できなかったり、先生の話の聞きとができなかったりします。

次の5つのポイントを心掛け、スムーズに診察を受けましょう。

- 診察する先生にお子さんの状態を落ち着いて伝えましょう。
 - ・いつから
 - ・どんな症状
 - ・熱はあるか
(どのように上昇したか)
- 便の様子がおかしいときは、便を持って行きましょう。便はおむつに付着したままで結構です。
- 服用している薬があれば、薬の名前が分かるものを持っていきましょう。
- 診察しやすくなることがありますので、お気に入りのおもちゃなどを持ち込んでも結構です。
- 先生に聞きたいことがあるときは、要点を書いたメモを渡すのも一つの方法です。



健康づくり課
佐藤保健師

夜間小児救急医療

市では、夜間にお子さんが急病になったときの医療体制として「夜間小児救急外来」を実施しています。

救急外来を実施する前にお子さんの状態をチェックしたり、「こども救急電話相談」のアドバイスなどを活用したりして、最終的には、保護者の判断で受診しましょう。

受付時間

19時～22時

診察場所

南相馬市立総合病院

受付窓口

救急外来（入口は夜間通用口）

対象者

15歳以下のお子さん

診察医師

相馬郡医師会、双葉郡医師会員の協力医師

持参物

健康保険証

問合せ

乳幼児医療受給資格証
(乳幼児医療対象者のみ)

持参物

母子健康手帳

問合せ

南相馬市立総合病院 ☎3181

